

みやぎハイスクール通信

県立高校の旬な情報を毎月お届けします。各高校の魅力的な取組の情報が満載です。中学生の皆さんの進路選択にぜひご活用ください。

マナーアップ通信、部活動やボランティア活動などの各学校の特色ある取組、学校紹介、コラム、お知らせなどをお伝えします。

12月号の目次

- | | | | |
|------------|--------------|------------|-----------|
| 1 特色ある取組 | (7) 鹿島台商業高校 | 2 学校紹介 | (7) 石巻北高校 |
| (1) 名取高校 | (8) 石巻好文館高校 | (1) 仙台東高校 | 飯野川校 |
| (2) 仙台第三高校 | (9) 登米総合産業 | (2) 角田高校 | (8) 東松島高校 |
| (3) 富谷高校 | 高校 | (3) 古川高校 | 3 コラム |
| (4) 工業高校 | (10) 石巻商業高校 | (4) 古川黎明高校 | (1) 志津川高校 |
| (5) 宮城第一高校 | (11) 石巻北高校 | (5) 松山高校 | (2) 蔵王高校 |
| (6) 加美農業高校 | (12) 田尻さくら高校 | (6) 迫桜高校 | (3) 伊具高校 |

1 特色ある取組

(1) 名取高校 <デイサービスセンター「たけくま」訪問>

家政科2年生福祉系列選択者が、10月23日(水)に3回目となる岩沼デイサービスセンター「たけくま」訪問を行いました。自分たちで考えたレクリエーション(今回は簡単な体操と名取高校クイズ)を、入浴サービスと昼食の間の時間に実施させていただきました。

利用者の方と一緒に音楽に合わせてグーパー体操を楽しく行った後、3択クイズを行いました。利用者の方には難しく感じた問題が多かったようです。答えに迷ってしまう利用者の方たちに職員の方が優しく声掛けをされていて、その様子を参考にして訪問した生徒達も臨機応変にヒントを出すなど、工夫をして接することができました。

次回12月が最後の訪問となりますが、より楽しんでもらえる内容を考えたいと思います。



<学校のホームページはこちらです> <https://natori-h.myswan.ed.jp/>

(2) 仙台第三高校

〈三高探究の日 ～グローバルサイエンス（GS）フェスタ～〉

令和元年11月9日（土）、本校を会場に「三高探究の日 ～GSフェスタ～」が開催されました。県内のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）指定校である仙台第一高校、多賀城高校、古川黎明中学校・高等学校、スーパーグローバルハイスクール（SGH）指定校である気仙沼高校、仙台白百合学園高校、昨年度の指定校である仙台二華中学校・高等学校、理数科設置校である宮城第一高校、仙台向山高校に加えて、石巻地区の小学生、中学生が一堂に会して各GSイベントへの参加やポスター発表を行いました。仙台第三高校の理数科課題研究と、普通科探究の成果発表も行い、校種を越えて活発な意見交換が行われました。

①口頭発表（高校生、全6題）

②GSイベント

●サイエンスカフェ（講演240名参加）

大学研究者から自身の研究テーマやコミュニケーションの重要性について講演を行っていただきました。

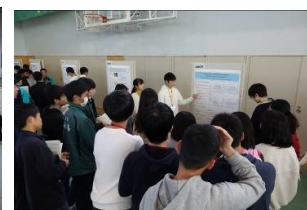
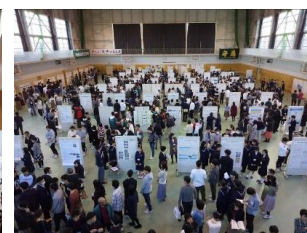
講師 東北大学大学院工学研究科

教授 高橋 信 氏

●ポスターセッション（発表29題230名参加）

すべて英語で研究の成果をポスター発表しました。東北大学の留学生を相手に英語によるディスカッションも行いました。

③ポスター発表（小中高校生、全119題）



〈学校のホームページはこちらです〉 <https://sensan.myswan.ed.jp/>

(3) 富谷高校 〈台南市興國高級中学校交流会 一異文化交流一〉

富谷高校では積極的に異文化交流を受け入れています。今回は数年前から御縁のある台湾の台南市興國高級中学校の訪日教育旅行での訪問を受けました。

11月11日（月）に歓迎セレモニーとして、本校2年国際コースとの異文化理解交流会を行いました。本校では例年台湾への進学を目指す生徒がいるため、有志の生徒が通訳等の補助的役割を行い、スムーズな交流ができました。その後バディとなる1、2年生のユネスコ委員との対面を兼ねた昼食会、互いに英語と身振り手振りで意思疎通を行いながら校舎案内を行い、交流を深めました。午後は1、2年生の各クラスに授業参加し一般の生徒とも親睦を深め楽しく一日を過ごしました。

帰りは吹奏楽部の送別演奏に送られ富谷高校を後にしました。両校の生徒たちは異文化を肌で感じ取っていたようです。

帰りは吹奏楽部の送別演奏に送られ富谷高校を後にしました。両校の生徒たちは異文化を肌で感じ取っていたようです。

〈学校のホームページはこちらです〉 <https://tomiya-h.myswan.ed.jp/>



(4) 工業高校

〈未来の創造のために、技術をもった人材を育てています〉

本校は工業の各分野で活躍する技術者の育成を目的として、「もの（技術）づくり、ひと（人材）づくり、ゆめ（未来）づくり」をキャッチフレーズに教育活動を展開しています。各学科では、工業技術、特にものづくりへの興味・関心と将来の進路達成に向けた職業意識を高めることを目的に、企業や大学等の御協力を得ながら様々な取組を行っています。今年度も工場見学、インターンシップ、出前授業などを合わせると、合計30以上の事業を展開しています。その結果、「令和元年度 高校生ものづくりコンテスト宮城県大会」では、旋盤作業部門で優勝、電子回路組立部門6月大会で2・3位、11月大会で優勝・3位、化学分析部門で2位に入賞することができました。また、第57回技能五輪大会「ウェブデザイン職種」で敢闘賞受賞や第14回若年者ものづくり競技大会「フライス盤」職種と「業務用ITソフトウェア・ソリューションズ職種」の金賞を受賞しています。さらに、第45回技能五輪国際大会ロシア連邦・カザン大会の「業務用ITソフトウェア・ソリューションズ」職種に高校生初となる日本代表選手として情報技術科の3年生が出演しています。

加えて、グローバル化社会に対応できる人材育成にも取り組んでおります。その一環として昨年度本校の生徒6名が中国の上海と成都、北京を訪問したことによる交流会が今年度も予定されております。これらの体験や経験によって、技術や知識の向上だけではなく専門性を高めることやグローバル化社会も踏まえ、働くことの意義も学んでいます。

過去3年間の進路状況は昨年度までは就職6割、進学4割でしたが、今年度は就職が7割（県外も100名以上）、進学が3割と就職希望者が増加しました。就職者のほとんどが製造業・建設業を中心に開発・設計・製造・保守などの工業技術系の職種に従事し、進学者も大学・高専・大学校など工学部系へ進んでいます。



県内唯一のキュボラ溶解実習の様子
(機械科)



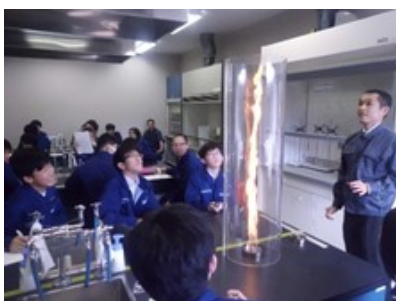
ものづくりコンテスト
(電子機械科)



インターンシップ (電気科)



住宅模型製作 (インテリア科)



火災・爆発の先端技術実習
(化学工業科)



第45回技能五輪国際大会
ロシア連邦・カザン大会
(情報技術科)

〈学校のホームページはこちらです〉 <https://miyagi-th.myswan.ed.jp/>

(5) 宮城第一高校 <ミヤイチの2019研修旅行>



宮城第一高校では生徒の希望により台湾・関西の2方面から選択できる「研修旅行」を2年次で実施しており、今年は12月4日（水）～7（土）に実施しました。

台湾方面の研修旅行には約110名が参加しました。1日目に成田空港から桃園国際空港へ移動し、2日目には2016年から本校と交流を深めている国立台南第一高級中学で学校間交流を行いました。熱烈な歓迎を受けたセレモニーでは記念品の交換やジャズダンスの部の発表を行い、さらに両校の生徒間でのプレゼンテーションや昼食会などを通して英語で積極的にコミュニケーションを図る2年生の様子がうかがえました。3日目は故宮博物院や忠烈祠など台北市内で研修を行い、午後は現地の学生の方に同

行していただき班別の研修を行いました。初めて台湾を訪問する生徒がほとんどでしたが、現地の方と関わり、異文化に触れることで日本の文化や考え方を見直す機会も多く、貴重な体験を重ねながら国際理解を深めた実りある研修となりました。

一方、関西方面の研修旅行には約160名が参加しました、1日目に全体で薬師寺、奈良公園、平等院など奈良の歴史に触れる研修を行い、2日目は京都大学での特別講義・国立民族博物館（文系）・関西光科学研究所（理系）など4コースに分かれて質の高い研修を受けることができました。3日目は班ごとに目的を設定し、計画を立て、京都・大阪を中心とした班別研修を行いました。4日目には清水寺見学、嵐山散策を行い、秋の京都を満喫して名残惜しいまま仙台に帰りました。授業で学習した建造物や施設、歴史的な事物を直に見学することができ、生徒にとっては大いに視野を広げるとともに今後の学習への意欲も高まった4日間となったようです。

2年生は4月から進めてきた「総合的な学習の時間」を今回の研修旅行に生かし、その成果をこれからまとめて校内で発表する予定です。



<学校のホームページはこちらです> <https://miyaichi.myswan.ed.jp/>

(6) 加美農業高校 <収穫感謝の会の紹介>

本校は創立120年の歴史を持ち、校地面積全国第2位の豊かな自然に恵まれた農業高校です。その専門性は多彩で、本校では7つの部門（作物・畜産・草花・露地野菜・施設野菜・果樹・植物バイオ）に分かれて学習しています。

11月8日（金）には、大地の恵みに感謝するとともに、収穫までに費やした労苦をお互いに讃え合う場として、「収穫感謝の会」を開催しました。

今年は各部門からの作柄報告のあと、「家畜の命」と題した記念講演が行われました。そして、心を込めて栽培した農作物を使い、クラスごとにおにぎりと豚汁を作りました。

晴天のもと、生徒たちは仲間と協力して薪で火をおこし、野外炊飯を楽しみました。出来上がった料理にはコンテストがあり、クラスごとに食材や調理法に工夫を凝らしていました。羽釜で炊いた新米のおにぎりと豊かな大地で育った食材をふんだんに用いた豚汁の味は格別で、仲間との絆も更に深まりました。



<学校のホームページはこちらです> <https://kamino-h.myswan.ed.jp/>

(7) 鹿島台商業高校

＜「地域ビジネスプランニング」フィールドワーク＞

「地域ビジネスプランニング」とは、本校の学校設定科目です。この科目では、生徒は与えられたミッション（課題）をグループ毎に解決するために調査研究を行っています。ミッションは昨年度から引き続き、「駅からハイキング」のコース作成を行っています。「駅からハイキング」とはJR東日本で開催している企画です。JR東日本とコラボし、生徒が地元と密着し、地元の魅力を十分にアピールできるハイキングコースを考え、JR東日本に提案し、コースの一つとして加えてもらおうというものです。



12月6日（金）の4時間目から6時間目に3年生全員が校外に出て、これまでに自分たちが企画しているコースを検証しました。

この内容については、学習成果発表会で発表します。1月22日（水）に大崎市鹿島台の鎌田記念ホールで開催します。一般のお客様も大歓迎です！！

＜学校のホームページはこちらです＞ <https://kasimadai-ch.myswan.ed.jp/>

(8) 石巻好文館高校

＜総合的な探究の時間～甲斐あるひとといわれたいむ～＞

石巻好文館高等学校では、その校是「甲斐ある人と言われなむ（真心をもって 世のため人のために 尽くす人になるように 日々努力する）」を実現するために、総合的な探究の時間を、「甲斐あるひとといわれたいむ（甲斐たいむ）」と銘打ち、様々な取組を行っています。

11月上旬、1年次の生徒がボランティア体験活動を実施しました。主として部活動単位でグループを作り、地元のニーズを調査するなどして、訪問先の決定から調整まで、生徒が主体となって活動しました。近隣の幼児教育施設訪問や公園・海岸などの清掃活動など、「してあげる」のではなく、「させていただく」姿勢を忘れることなく有意義な1日を過ごしました。この体験を今後の有意義な高校生活、ひいては豊かな人生につなげていってほしいものです。



＜学校のホームページはこちらです＞ <https://koubunkan.myswan.ed.jp/>

(9) 登米総合産業高校 <起業実践>

本校では、2, 3学年で学校設定科目「起業実践」に取り組みます。内容はチームを編成して自分たちで地域の課題を発見し、その解決方法を研究するというものです。3学年では、地域の方々にも指導者として直接生徒に指導をいただきました。中には外部のコンテストに応募するビジネスプランを作成したチームもありました。本校は、農業科・機械科・電気科・情報技術科・商業科・福祉科の6学科を設置しており、自分の学科の知識や技術で解決が難しい課題には、他の学科と連携して課題解決に向けて取り組んでいます。

研究の一部を紹介します。

| テーマ | 概要 |
|------------------|---------------------------------------|
| コメの密苗栽培と日本酒造り | 密苗栽培による苗箱の削減と育苗期間の短縮による労働時間の軽減についての研究 |
| 地域連携・学科間連携に挑戦しよう | 上沼小学校の一輪車の修繕・農業科のトマト栽培用ソーラー設備の製作 |
| ソーラークッカーの製作と普及 | 再生可能エネルギーを活用し、環境保護や普及を目指す |
| バスバスター | 伊豆沼・内沼で釣れるブラックバスを使用した料理の研究 |
| くつろげる場所を増やそう | 空き家を利用してカフェと図書館の一体型店舗の設計 |
| 障がい児デイサービスとの交流 | 高校生とデイサービスを利用する子どもたちとの交流イベントを企画 |



<学校のホームページはこちらです> <https://tomesou.myswan.ed.jp/>

(10) 石巻商業高校 <特色ある取組 石商マーケット>

石巻商業高等学校3年生179名が、9月8日・18日にイトーヨーカドー石巻あけぼの店、10月26日に文化祭、11月16日にエスパル仙台本館において、全国の専門高校（商業・水産）が開発した商品を仕入れ、販売実習を行いました。

生徒たちは各販売ブースに分かれて店長や経理、接客を体験し、地域住民と交流を深めました。

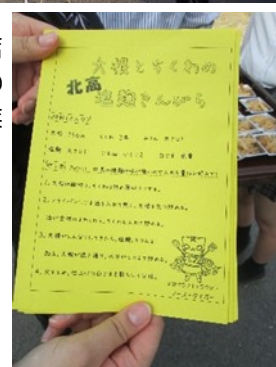
石商マーケットの初日には、高知県立山田高校が開発した「ショウガ入りまんじゅう」や岡山県立岡山東商業高校が開発した「桃太郎トマトを使用したソース」など、地域の特産を使った商品を陳列しました。店舗の設営や商品の値段を設定し、商品の説明を交えた接客を行い、お客様とコミュニケーションを図りました。



<学校のホームページはこちらです> <https://sekisyo.myswan.ed.jp/>

(11) 石巻北高校 <交流ひろば販売所 “と・ら・ま・い” >

石巻北高校には、「と・ら・ま・い」という行事があります。本校は、総合学科の高校で食農・家庭・経情・教養・進学 of 5 系列に分かれて学習しています。「系列が相互に関連し、系列を超えた学び」として、食農系列は商品提供、家庭系列はレシピ作りと試食品提供、経情系列は会計・接客業務、教養系列はお客様の誘導、進学系列は「と・ら・ま・い通信」の発行と多くの生徒で運営しています。2012年より開店し、今年度も5月から12月の期間で合計12回開店する予定です。隔週の営業となっていますが、多くの地域の方々や保護者の皆様、職員の方々にも評判で毎回、行列ができるイベントです。今年度は12月4日（水）が最終営業日となり、たくさんのお客様がお見えになりました。



<学校のホームページはこちらです> <https://ishikita.myswan.ed.jp/>

(12) 田尻さくら高校 <さくらスポーツ祭>

11月1日（金）、「第3回さくらスポーツ祭」が開催されました。午前中の体育館競技では、玉入れ競争、おたまリレー、雑巾がけリレーなどのバラエティ豊かな種目で、白熱した闘いが繰り広げられました。天候にも恵まれたこの日は、午後からの外での競技も盛り上がり、リレー、駅伝などの種目が行われ、これまでの練習の成果を発揮する生徒の姿が数多く見受けられました。また、最後には閉会の催しとして8名の生徒による「リズムなぎなた」が披露され、息の合った演技にみな魅了されていました。

それぞれの生徒が自らの役割を全うし、たくさんの方々の声援や笑顔のあふれる温かい雰囲気のスポーツ祭となりました。



<学校のホームページはこちらです>
<https://tajiri-hs.myswan.ed.jp/>



3 学校紹介

(1) 仙台東高校 <グローバルウィーク Global Week >

11月5日～11月8日の期間を【Global Week】と称し、国際理解に関するイベントを開催しています。国際理解教育に力を入れている我が校ならではの特徴の1つです。この期間、国際講演会をはじめ異文化理解講座や国際協力活動など、様々なイベントを実施しております。今年の国際講演会は、日本・モンゴル・中国文化交流会長で民族歌手のイリナ氏、馬頭琴の名手ウルガン氏をお迎えして、素晴らしい講演・演奏をして頂きました。異文化理解講座では、SenTIAの3名の講師（中国・韓国・マレーシア）やNPO法人IVYからの講師による、母国紹介・異文化理解及び座談会を実施しました。また金曜日には中国高校生訪問団28名が本校を訪れ、生徒同士が様々な交流をすることで相互理解を深めました。コモンホールでは「総合的な探究の時間」で取り上げているSDGsのパネル展示やハラルフード（カレー）の販売をしつつ、募金活動も展開しました。こうした国際色豊かな活動を通して、国際理解を深め、地球市民意識を持って行動できる生徒を育成しております。



<学校のホームページはこちらです> <https://higasi-h.myswan.ed.jp/>

(2) 角田高校 <地域との連携>

角田高校は、角田市唯一の高校です。そのため、様々な形で地域と連携しながら角田市内の各所で活動しています。秋以降の取組を紹介します。

○8月29日（木） 仮装行列

各クラス代表と吹奏楽部が角田中学校・角田小学校などを経由して角田市内を回り、文化祭をPRしました。

○11月6日（水） 角田市議会議員とのまちづくりワークショップ

角田市議会議員が来校し、本校3年生の現代社会選択者と角田の将来について考える企画。「角田の良い点」「残念な点」「10年後のありたい町」「大人に応援してほしいこと」などを話し合いました。

○11月10日（日） 角田市台風災害復興支援「食の助け合い・栄養芋煮」

2年生4名がボランティアとして参加しました。

○11月15日（金） 1年次・総合的な探究の時間「地域から社会を学ぶ」

班毎に地元の商店街から1店舗を選び、インタビューをして、その店の特徴や地域の商店の現状などの話を聴きました。



今年は10月12日の台風19号による被害のため、秋の行事は阿武隈リバーサイドマラソンを始め中止となったものも少なくありません。そんな中で、角高生は地域で被災された方の家へ出向き、自主的に後片付けのボランティアを行っていました。このように生徒たちは地域社会に出て行き、地域の人たちと触れ合いながら成長しています。また逆に、高校生が地域に出て行くことによって地域社会に刺激を与えていくことができれば、相乗効果が期待できると考えています。

<学校のホームページはこちらです> <https://kakuko.myswan.ed.jp/>

(3) 古川高校 <大学出前講座>

去る10月29日に、1・2年生を対象にした大学出前講座を行いました。大学の先生方から各専門分野についての講義を受けることは、生徒にとって、自分の興味関心のあることについて広く深く知り、進路について考えるよい機会となっています。

今年は東北大学、宮城大学、岩手大学、山形大学、宇都宮大学、東北学院大学、東北医科薬科大学、東北福祉大学から総勢14名の先生を招き実施しました。本校の出前講座の特徴は、1・2年生が午前と午後それぞれ1講座を受講することにあります。大学の先生方は75分×2コマの長丁場になり、大変な御負担であるのですが、毎年快く講義をいただいています。担当された先生方からは、「生徒さんから適切かつ鋭い質問をいくつもいただき、喜んでます」「熱心に受講してくれたと感じています。質問もあり、双方向の講義を実施することができました」など、お褒めの言葉を多数いただきました。また生徒たちは、今回の講座で「大学での研究がどういうものかイメージができるようになった」「自分の学びたいことが具体的にになり、学部学科を決めることができた」など、確実に進路意識を高めることができました。今後1・2年生は今回の講座を参考に、それぞれの探究活動の中で自己の進路意識をさらに深めていきます。



<学校のホームページはこちらです> <https://furuko.myswan.ed.jp/>

(4) 古川黎明高校 <令和で黎WA ～今年度の取組～>

○部活動等

今年度も昨年度同様、部活動の活躍が目立ちました。全国大会に卓球部、なぎなた部、陸上競技部、美術部、写真部、自然科学部、文芸部、吟詠剣詩舞愛好会の8つの部が出場し、それぞれが宮城県代表として活躍しました。また、東北大会にハンドボール部、弓道部が駒を進めました。上位大会に惜しくも進めなかった他のどの部も毎日ひたむきに練習に取り組んでいます。



○課題研究

今年度、2期目のSSH指定を受け、1期目の経験を活かした取組を行っています。1年生は、世界農業遺産に指定された大崎耕土についての課題研究に全員で取り組んでいます。生物多様性、食文化、水管理、歴史文化、栽培技術の5分野に沿った訪問先を訪れて研究を進め、10月に発表会を行いました。2年生はグループ毎にテーマを設定して課題研究に取り組み、10月に中間発表会を行いました。現在は2月に行われる研究発表会本番（黎明サイエンスフェスティバル）に向けて、更に充実した内容となるように研究を進めています。



○芸術鑑賞会

10月に行われた芸術鑑賞会では、音楽をテーマに、THE SOULMATICCSによるゴスペルを堪能しました。会場にいる全員が参加して楽しめるようなパフォーマンスに、生徒も教員も大いに満足し、時間を忘れて盛り上がる事ができた素晴らしい公演でした。



<学校のホームページはこちらです> <https://freimei-h.myswan.ed.jp/>

(5) 松山高校 <松高祭について>

本校最大の学校行事である松高祭が10月25日～26日に開催されました。初日は文化部による校内発表、2日目は一般公開と全校生徒参加の後夜祭が行われました。

今年度の生徒会企画は創立40周年ということもあり、全校生徒出演による【松山高校物語】という映画を作成しました。生徒達は時折、笑いながらも真剣に見入っていました。例年以上の来場者を迎え、大盛況の中、松高祭の全日程を終えることができました。

年が明けた2月8日には今年度の集大成『家政科・家庭科発表会』が開催されます。文化祭以上に生徒達が力をあわせ、創立40周年にふさわしい行事を作り上げてくれることを期待しています。



<学校のホームページはこちらです> <https://matuyama-h.myswan.ed.jp/>

(6) 迫桜高校 <災害復旧支援活動>

10月12日の台風19号とそれに続く豪雨災害の被災地の復旧支援活動に、学校をあげて取り組みました。

10月26日、野球部を中心とした生徒19名と教職員2名が、丸森町でのボランティア活動に参加し、グループに分かれて家屋の後片付け等を行いました。次いで、11月3日には、全校から募集した有志生徒55名と教職員10名が、大郷町でのボランティア活動に参加し、畑や田んぼに溢れている被災ゴミの回収・清掃活動を行いました。

また、生徒会が中心になって校内で募金活動を行い、その後10月18日に学校近くのスーパーの店頭で、生徒会執行委員が地域の方に呼びかけて募金活動を行いました。集まった義援金は、被災した伊具高校に届けました。

<学校のホームページはこちらです> <https://hakuou.myswan.ed.jp/>



(7) 石巻北高校飯野川校 <いぬわし祭（文化祭）>

今回は学校行事の一つである「いぬわし祭」を紹介します。「Just Smile ～笑顔の花を咲かせよう～」というテーマの下、10月25日（金）校内発表、26日（土）一般公開（芸術鑑賞を含む）を開催しました。特徴は、全校生徒（80名）が体育館に集まり、「ステージ発表」と体育館後方での「展示発表」を全校生徒が発表・鑑賞して楽しむ形式であることです。

ステージ発表は、フラダンス、生徒生活体験発表（県大会優秀賞）、陸上部全国大会報告（スライド）、2・3年次クラス発表（ダンス等）、仮装（Masquerade show）、生徒会企画（E-sports）、ピンゴゲームがあり、一般公開日には和太鼓の団体をお招きして生徒もステージ上で体験を楽しみました。

展示発表では、団体ごとにこれまでの活動の成果を展示発表しました。具体的には、文化部（文芸・写真）、総合的な学習の時間「ゼミ」（国際研究、アート、漢字&手芸、美術、書道）、科目「子ども文化」（手作りおもちゃ）、三修制（ボランティア、インターンシップ、石巻高等技術専門学校体験実習）、1年次（お化け屋敷からの脱出）が展示発表を行いました。一般公開日には、保護者や卒業生など50名を超える方々にお越しいただき大いに盛り上がり、テーマに相応しい文化祭となりました。



お化け屋敷からの脱出



2年ダンス



3年ハーモニー



Masquerade Show



芸術鑑賞（和太鼓）



展示（ボランティア）

<学校のホームページはこちらです> <https://i13-hama.myswan.ed.jp/>

(8) 東松島高校 ひがまつ <東松の行事紹介！>

(1) My Will! スピーKING

自分の趣味、みんなに伝えたいこと、学校生活の出来事、アルバイトの体験、夏休みの思い出等、生徒が自由にそれぞれの想いを発表する行事です。生徒の新たな一面を見ることができました。

(2) 東松祭

今年度は『百花繚乱～美しく咲き乱れ～』というテーマで行われました。全校制作のモザイク壁画、飛び入りアームレスリング大会、ヒガ☆コレ（男装・女装・コスプレなど何でもOK!）、合唱部演奏、歌うま選手権など東松島ならではの企画が盛りだくさんでした！

一般公開でも、9団体による展示や研究発表、さらに模擬店の数は昨年よりも多い13団体と、例年以上にパワーアップして開催し、多くの方に御来校いただき盛況のうちに終了しました。

(3) 芸術鑑賞会

劇団「オペラシアターこんにゃく座」をお迎えして、『ネズミの涙』を鑑賞しました。生徒も教員も今までオペラを聞く機会が無く初めての経験でしたが、終始音楽や歌が舞台上にあふれ、演技にも迫力がありました。さらにはコミカルな笑いや涙があり、舞台に魅了された一日でした。



<学校のホームページはこちらです> <https://higashi-matsushima.myswan.ed.jp/>

3 コラム

(1) 志津川高校 <なじよでがす? 「南三陸・令和スイーツパック」>

志津川高等学校情報ビジネス科2年生では毎年、「電子商取引」という授業の活動で、地元・南三陸町の特産品をいくつか、ひとつの「パック」にしてインターネット販売の実習をしています。第7弾となる今回の南三陸パックでは、南三陸町のスイーツやお菓子をメインに扱ってみようと考えました。試作品の改良を重ね、完成した今回のパックは名付けて「南三陸・令和スイーツパック」。この地域で50年以上前から親しまれる焼き菓子や、老舗の水産加工会社さんが新しいチャレンジで始めたバウムクーヘンほか、町の「スイーツ」の名品を1つのパックに詰めています。町の方々から商品開発のことや震災後のたいへんだった頃の話や直接伺ったりしながら、ネット通販を含む「商売」全般の難しさや楽しさ、町で商店を営む方々の「ものづくりへのこだわり」などたくさんのことを学習できたように思います。北は北海道から南は沖縄まで、たくさんの方からの御注文に感謝です！



<学校のホームページはこちらです> <https://sizugawa-hs.myswan.ed.jp/>

(2) 蔵王高校

<ZAP (蔵王あすなろプロジェクト), 高校生クッキング・プロジェクト>

○ZAP (蔵王あすなろプロジェクト) ~地域に貢献できる人材育成を目指して~

蔵王高校では、「ZAP (蔵王あすなろプロジェクト)」と称して、地域を理解し、地域に貢献する生徒を育成することを目標とした学習を設定しています。1年生では、10月18日(金)、「起業人に学ぶ」と題して有限会社アトリエデリス代表取締役佐々木文彦様から講話をいただきました。進路に悩んでいた高校生当時の経験から、料理人を志して本場フランスで修行をし、蔵王町に出店するまでをユーモアたっぷりに語っていただきました。蔵王町のために何ができるかを考えて、地元の食材を加工する工場を立ち上げた佐々木様の真剣な姿に、生徒たちも大変刺激を受けていました。



1月24日(金) ZAP等学習発表会 (9:00 蔵王町ございんホール)

○蔵王町とパラオをつなぐ 高校生クッキング・プロジェクト

パラオ共和国独立25周年及び日本との国交樹立25周年を記念して、パラオと日本をつなぐ「クッキング・プロジェクト」が企画され、本校生徒4人が参加しました。東京オリンピック・パラリンピック競技大会でパラオのホストタウンを務めている蔵王町の高校生と茨城県常陸大宮市の高校生が対象で、事前の3日間と当日を含めた計4日間の日程で、それぞれ両国をつなぐお弁当のレシピを考案し、実際に調理して完成品を審査し、実食して交流を深めるというものです。11月17日(日)当日は、蔵王町地域福祉センター内で、蔵王町長を始めとする蔵王町の来賓や本校校長、そして駐日パラオ大使館のチャーレス公使参事官の臨席もある中で、調理し、プレゼンテーションして実食、審査と盛大かつ楽しく交流しながら行われました。参加した生徒からは、「パラオの食と文化の課題にも触れることができ、おいしくいただけた」と充実した感想が聞かれました。



<学校のホームページはこちらです> <https://zao-h.myswan.ed.jp/>

(3) 伊具高校 <台風からの復興>

本校は丸森町に位置しており、10月12日の台風19号によって被災しました。校舎に被害はなかったものの、農場では川の氾濫によって大きな被害が出ました。

圃場や施設、農業機械がほぼ水没して使用できない状況となり、生徒達が文化祭に向けて育てていた野菜類は全て泥に浸かり、鉢花のシクラメンもおよそ800鉢が流されてしまいました。収穫したての新米も20袋ほどが泥水に浸かりました。現在は、座学やプランターによる簡易栽培などを中心に学習を進めながら、農場が再び元の姿を取り戻せるように農業実習を通して生徒職員が協力して環境整備に当たっています。

このような状況の中でも、生徒は元気に活動しております。休日にボランティア活動をし、被災した友人宅の片付けの手伝いなどをしたり、農場で枯れずに生き残った葉ボタンを町内のふれあいパークの花壇に植栽したり、みやぎ産業教育フェアでは町内業者と共同開発したシフォンケーキを販売し、収益金と街頭募金を丸森町に寄付したりと生徒主体で様々な活動に取り組んでいます。また、陸上競技部では練習時間を確保することが難しい状況の中、駅伝大会に参加し、懸命にたすきを繋ごうと走り切りました。

台風の影響で実施できなかった伊具高祭も、生徒からの要望によって12月21日(土)に開催されました。

「チーム伊具高」一丸となって丸森町に元気を届けます。今後とも御支援よろしくお願ひします。

<学校のホームページはこちらです> <https://igu.myswan.ed.jp/>

